

科目名	基礎はり実技 Basic Acupuncture Practical Skills	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	前田 見太郎/王子 由佳里/ 阪本 尚美/勝山 周斗
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	120 4	開講区分	前期

【授業の学習内容】

基礎はり実技では”はり術”の基本的操作の修得を図りながら日常的な臨床で使用する基本的な刺鍼手技を身につける。はり術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。

①鍼の基礎知識 ②刺鍼の方式と術式 ③特殊鍼法 ④鍼の臨床応用 ⑤リスク管理

前田

実務実績 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動
医療系専門学校にて教鞭をとる。

資格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント

【到達目標】

- ①はりの基本的な操作を行うことができる。
- ②正確かつ安全(衛生的)に刺鍼操作することができる。
- ③日常臨床で使用する刺鍼技術と種類の違いを説明でき、行うことができる。
- ④特殊鍼法の特徴を説明できる。
- ⑤医療従事者に求められる身だしなみや配慮について理解する。

授業計画・内容

1回目	鍼術の定義、鍼の道具について説明できる。
2回目	医療従事者に求められる身だしなみ・言葉遣いについて説明できる。鍼術の方式と術式について説明できる。両手挿管法の実技を行う。
3回目	両手挿管から切皮、弾入までの一連の流れを模倣し、正確に行うことができる。
4回目	両手挿管から切皮、弾入までの一連の流れから旋撚刺法を模倣し、正確に行うことができる。
5回目	両手挿管から切皮、弾入までの一連の流れから旋撚刺法を模倣し、正確に行うことができる。
6回目	両手挿管から切皮、弾入までの一連の流れから旋撚刺法を模倣し、正確に行うことができる。
7回目	両手挿管から切皮、弾入までの一連の流れから旋撚刺法を模倣し、正確に行うことができる。
8回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから旋撚刺法を正確に行うことができる。
9回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから旋撚刺法を正確に行うことができる。
10回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから旋撚刺法を正確に行うことができる。
11回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから旋撚刺法を正確に行うことができる。
12回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に行うことができる。
13回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に行うことができる。
14回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に行うことができる。
15回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に行うことができる。
準備学習 時間外学 習	授業の学習内容に記載している①～⑤に関しては教科書ならびに参考図書に熟読した上での受講が望ましい。 Class-room動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、刺鍼練習台を利用し練習を行うこと。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へ のメッセー ジ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版
参考書 図解 鍼灸療法技術ガイド 文光堂 出版
Class-room 動画配信コンテンツ

科目名	基礎はり実技 Basic Acupuncture Practical Skills	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	前田 見太郎/王子 由佳里/ 阪本 尚美/勝山 周斗
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】							
<p>基礎はり実技でははり術の基本的操作の修得を図りながら日常的な臨床で使用する基本的な刺鍼手技を身につける。はり術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。</p> <p>①鍼の基礎知識 ②刺鍼の方式と術式 ③特殊鍼法 ④鍼の臨床応用 ⑤リスク管理</p> <p>前田 実務実績 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動 医療系専門学校にて教鞭をとる。 資格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント</p>							
【到達目標】							
<p>①はりの基本的な操作を行うことができる。②正確かつ安全に刺鍼操作することができる。③日常臨床で使用する刺鍼技術と種類を理解する。④実技における身だしなみについて理解する。</p>							

授業計画・内容	
16回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に連続して行うことができる。
17回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に連続して行うことができる。
18回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に連続して行うことができる。
19回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に連続して行うことができる。
20回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に連続して行うことができる。
21回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を模倣し、正確に連続して行うことができる。
22回目	鍼施術における過誤・副作用について説明することができる。過誤・副作用発生時の処置や予防について説明することができる。
23回目	鍼施術における過誤・副作用について説明することができる。過誤・副作用発生時の処置や予防について説明することができる。
24回目	手指洗浄、消毒、患部の消毒、器具の衛生的取扱いについて説明することができる。
25回目	手指洗浄、消毒、患部の消毒、器具の衛生的取扱いについて説明することができる。
26回目	刺激量、感受性、鍼灸療法の禁忌について説明することができる。
27回目	片手挿管法から切皮、弾入までの一連の流れから送り込み刺法を行うことができる。
28回目	人体(下肢)へ送り込み刺法にて直刺を正確かつ安全に行うことができる。
29回目	人体(下肢)へ送り込み刺法にて直刺を正確かつ安全に行うことができる。
30回目	人体(下肢)へ送り込み刺法にて直刺を正確かつ安全に行うことができる。
準備学習 時間外学習	授業の学習内容に記載している①～⑤に関しては教科書ならびに参考図書に熟読した上での受講が望ましい。 Class-room動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、刺鍼練習台を利用し練習を行うこと。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版 参考書 図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ 文光堂 出版 Class-room動画配信コンテンツ</p>	

科目名 (英)	基礎はり実技 Basic Acupuncture Practical Skills	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	前田 見太郎/王子 由佳里/ 阪本 尚美/勝山 周斗
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 4	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

基礎はり実技では”はり術”の基本的操作の修得を図りながら日常的な臨床で使用する基本的な刺鍼手技を身につける。
はり術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。

①鍼の基礎知識 ②刺鍼の方式と術式 ③特殊鍼法 ④鍼の臨床応用 ⑤リスク管理

前田

実務実績 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動
医療系専門学校にて教鞭をとる。

資格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント

【到達目標】

- ①切皮痛や刺痛を伴わない刺鍼操作ができる。
- ②正確かつ安全(衛生的)に刺鍼操作することができる。
- ③日常臨床で使用する刺鍼技術と種類の違いを説明でき、行うことができる。
- ④特殊鍼法について説明できる。
- ⑤医療従事者に求められる身だしなみや配慮について理解する。

授業計画・内容	
31回目	人体(下肢)へ送り込み刺法にて直刺を正確かつ安全に行うことができる。
32回目	人体(下肢)へ送り込み刺法にて直刺を正確かつ安全に行うことができる。
33回目	人体(下肢)へ送り込み刺法にて直刺を正確かつ安全に行うことができる。
34回目	人体(下肢)へ送り込み刺法にて直刺を正確かつ安全に行うことができる。
35回目	特殊鍼法(小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、レーザー鍼など)について説明することができる。
36回目	クリーンニードルテクニックの目的を説明することができる。クリーンニードルテクニック目的を理解し、模倣することができる。
37回目	十七の刺鍼手技について説明することができる。十七の手技を正確かつ安全に行うことができる。
38回目	十二刺、九刺、五刺について説明することができる。
39回目	皮内鍼、吸角を模倣し正確かつ安全に行うことができる。
40回目	横刺の目的について説明することができる。横刺に伴うリスクについて説明できる。横刺を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。
41回目	横刺を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。
42回目	横刺を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。
43回目	横刺を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。
44回目	横刺を正確かつ安全に行うことができる。
45回目	横刺を正確かつ安全に行うことができる。
準備学習 時間外学 習	授業の学習内容に記載している①～⑤に関しては教科書ならびに参考図書に熟読した上での受講が望ましい。 J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、刺鍼練習台を利用し練習を行うこと。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へ のメッセー ジ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版 参考書 図解 鍼灸療法技術ガイド I 文光堂 出版 Class-room動画配信コンテンツ	

科目名 (英)	基礎はり実技 Basic Acupuncture Practical Skills	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	前田 見太郎/王子 由佳里/ 阪本 尚美/勝山 周斗
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】							
<p>基礎はり実技でははり術の基本的操作の修得を図りながら日常的な臨床で使用する基本的な刺鍼手技を身につける。 はり術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。</p> <p>①鍼の基礎知識 ②刺鍼の方式と術式 ③特殊鍼法 ④鍼の臨床応用 ⑤リスク管理</p> <p>前田 実務実績 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動 医療系専門学校にて教鞭をとる。 資 格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント</p>							
【到達目標】							
<p>①安全かつ衛生的に相手に切皮痛・刺痛を与えないように刺鍼できる。 ②指定された刺入操作で安全に刺鍼できる。</p>							

授業計画・内容	
46回目	横刺を正確かつ安全に行うことができる。
47回目	横刺を正確かつ安全に行うことができる。
48回目	横刺を正確かつ安全に行うことができる。
49回目	横刺を正確かつ安全に行うことができる。
50回目	横刺を正確かつ安全に行うことができる。
51回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。
52回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。
53回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。指定された部位・指定された時間内に直刺・横刺が正確かつ安全に行うことができる。
54回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。指定された部位・指定された時間内に直刺・横刺が正確かつ安全に行うことができる。
55回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。指定された部位・指定された時間内に直刺・横刺が正確かつ安全に行うことができる。
56回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。指定された部位・指定された時間内に直刺・横刺が正確かつ安全に行うことができる。
57回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。指定された部位・指定された時間内に直刺・横刺が正確かつ安全に行うことができる。
58回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。指定された部位・指定された時間内に直刺・横刺が正確かつ安全に行うことができる。
59回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。指定された部位・指定された時間内に直刺・横刺が正確かつ安全に行うことができる。
60回目	安定した押手による正確かつ安全な刺鍼を行うことができる。指定された部位・指定された時間内に直刺・横刺が正確かつ安全に行うことができる。
準備学習 時間外学習	授業の学習内容に記載している①～⑤に関しては教科書ならびに参考図書に熟読した上での受講が望ましい。 J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、刺鍼練習台を利用し練習を行うこと。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版 参考書 図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ 文光堂 出版 Class-room動画配信コンテンツ</p>	